

プロフィール

基調講演

【講師】



川を舞台にNPO法人の代表として住民活動を実践

にいかわ たつろう
新川 達郎氏（同志社大学大学院 総合政策科学研究科長）

東北学院大学助教授、東北大学助教授などを経て、2003年から現職。政府や地方自治体の制度に関する分析とその改革、行政における住民参加について研究するとともに、京都府府民参画行動指針検討委員会座長、京都市政策評価制度評議会会長など歴任。著書に「地域空洞化時代の行政とボランティア」等多数。

パネルディスカッション

【コーディネーター】



京都と京文化を育んだ鴨川の歴史を研究

きんだ あきひろ
金田 章裕氏（京都大学大学院 文学研究科 教授）

京都大学文学部長、副学長を経て、2005年9月から現職。京都において国内外から様々な文化を担う人々を招き、人類の目指すべき新たな方向を議論する「京都文化会議」の組織委員会企画委員長など歴任。著書に「古代日本の景観」「オーストラリア景観史」「古地図からみた古代日本」「古代景観史の探求」等多数。

【パネリスト】



米国ミシガン州生れ 世界から、芸術家から見た鴨川

おがも りべっか
小鴨 梨辺華 / オガモ・リベッカ・ティール氏（能楽金剛流 師範）

バーモント州ベントン大学で演劇及び工芸学科専攻。1972年に金剛流能楽師宇高通成師に能楽・能面師事し現在に至る。1980年に能楽金剛流師範免状取得、1996年に外国人として初めて能楽協会入会（小鴨梨辺華で登録）。現在国際能楽研究会本部事務局長で謡、仕舞、能面制作の指導や能楽の講義などで活躍。著書に「小野小町」（父・兄と共同出版）等。



「自然と共生できる社会」を願ってボランティア団体で活躍

すぎえ さだあき
杉江 貞昭氏（鴨川を美しくする会 事務局長）

河川美化と環境保全の輪を広げるために1964年に結成されたボランティア団体「鴨川を美しくする会」で1982年より事務局次長、2000年事務局長に就任し、現在に至る。同会は、結成以来約40年の長きにわたり、鴨川クリーンハイクをはじめ自然観察会や鴨川納涼、鴨川茶店などを通じて、鴨川をはじめとする河川の環境保全や美化に関する活動を展開。



京都市内の学校、教育実践の場から届く鴨川への思い

すなだ のぶお
砂田 信夫氏（京都市教育委員会 指導部長）

1997年4月に京都市立百々小学校長から京都市教育委員会地域教育専門主事に。学校指導課長を経て2005年4月から現職。京都の自然や文化、産業などを積極的に学校教育に取り入れ、市民ぐるみ・地域ぐるみで郷土を愛する子どもを育てる教育を展開。



鴨川源流の地、森と川・自然界から心の育成を説く

たなか しんちよう
田中 真澄氏（岩屋山志明院 住職）

高野山に入行、1967年鴨川の源流に位置し、鴨川と関わり深い岩屋山志明院の住職となり現在に至る。京都水と緑を守る連絡会代表幹事、明日の鴨川の橋を考える会委員、淀川水系流域委員会委員、宇治川保全利用委員会委員、京都創生百人委員会委員、鴨川の自然をはぐくむ会代表など歴任。著書に「ダムと和尚」等。



都市景観と環境問題、まちづくりの研究者から見た鴨川

まきむら ひさこ
槇村 久子氏（京都女子大学大学院 現代社会研究科 教授）

京都大学大学院農学研究科博士課程修了。奈良県立商科大学等を経て現職。地球環境関西フォーラム100人委員、NPO法人淀川さくら街道ネットワーク理事長等。ライフデザインと環境デザイン、地域と地球の再生を一体として考えている。著書に「お墓と家族」「持続可能社会構築のフロンティア」等多数。